

- まず、臨時休業中の学習に係るアンケート調査について、速報値でございますけれども、概要を御説明いたします。
- この調査は、臨時休業期間中、各学校が生徒の自宅のデジタル機器や学習用クラウドサービスを活用して取り組んだ家庭学習支援について、生徒・教員双方がどのように受け止めているかということを検証して、各学校の今後の学習活動に生かすことを目的に実施したものでございます。
- また、新型コロナウイルス感染症の流行はまだ収束したわけではなく、再び第2波・第3波と感染拡大が生じた際の臨時休業に備えるためにも、また、いつ何時災害が起きるかもしれないということで、学校再開直後の今、休業中の実態と課題を速やかに把握する必要がありますことから、急ぎ調査を行ったものでございます。
- 調査結果の概要の一部を御紹介いたします。
- 1ページから2ページのグラフのとおり、県立高等学校では全校で、クラウドサービスを活用した取組を実施しており、大半の生徒がログインして学校とつながりを持っていたことがうかがえます。
- 多くの生徒が「役に立った」と答えており、デジタルならではのメリットを感じる機会となったことがうかがえます。
- 同様に、5ページの(6)で満足度を調査しておりますが、6割を超える生徒がクラウドサービスを活用した学習支援に満足しており、「先生に分からないところを聞きやすかった」などの感想も挙げられています。
- 一方で、教員や管理職は、「ネット環境や端末が整わない生徒がいた」ことを課題に挙げております。
- 教育委員会といたしましては、4月補正予算で生徒貸出用端末等の予算を議決いただき、大急ぎで調達を進めておりますが、市場でのデジタル機器の供給不足もあり、未だ必要な全生徒分の機器はそろっておりません。

- 再度の感染拡大や、災害など不測の事態においても、デジタルデバイスを活用した学習支援は欠かせないものでございますので、必要な生徒に行き届くよう、引き続き調達を進めてまいりたいと思います。
  
- 6ページには、教員の今後のICT活用意向、それから学校体制等に関する調査結果をお示ししております。
  
- 臨時休業の長期化という緊急時において、クラウドサービスの活用を通じ、校内で協力して学習支援を進めた様子がかがえる結果となっており、今後のICT活用に関する意欲も高まっていると考えられます。
  
- 教育委員会といたしましても、今回の調査結果を基に、学校におけるデジタル技術・デジタル機器の一層の活用を推進してまいりたいと考えております。
  
- 臨時休業中の学習に係るアンケート調査について、私からの説明は以上でございます。